

日本水処理生物学会第61回大会（川越大会）プログラム

- 会期 : 令和7年11月14日（金）～11月16日（日）
- 会場 : 東洋大学 川越キャンパス
〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100
- 大会会長 : 山崎宏史（東洋大学理工部）
事務局長 : 井坂和一（東洋大学理工部）
〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100
東洋大学理工学部応用化学科（井坂宛）
TEL : 049-239-1377（直通） FAX : 049-239-1031（学科共通）
E-mail : jswtb.61@gmail.com

<会場案内>

日 時	内 容		会 場	
1日目 11月14日（金） 開場13:30～	開会式	14:00～14:10	4号館 2F	421教室
	シンポジウム	14:10～16:40	4号館 2F	421教室
	水道生物研究集会	17:00～19:00	4号館 4F	第2会議室
	排水・環境水研究集会	17:00～19:00	4号館 4F	第1会議室
2日目 11月15日（土） 開場8:30～	受付	8:30～16:00	1号館 1F	ロビー
	企業展示	9:00～16:00	1号館 1F	ロビー
	一般講演（A会場）	9:00～15:45	1号館 1F	1102教室
	一般講演（B会場）	9:00～15:45	1号館 1F	1103教室
	一般講演（C会場）	9:00～15:45	1号館 1F	1104教室
	昼食休憩	11:30～13:00	-	
	企業研究会	11:30～13:00	1号館 1F	1105教室
	評議員会	11:30～13:00	4号館 4F	第2会議室
	総会・表彰式	16:00～17:15	4号館 2F	421教室
	大会本部	8:30～17:00	1号館 1F	1101教室
	休憩室	8:30～17:00	1号館 1F	1105教室
	意見交換会	17:30～19:00	学生食堂	
3日目 11月16日（日） 開場8:30～	受付	8:30～11:30	1号館 1F	ロビー
	企業展示	9:00～11:30	1号館 1F	ロビー
	一般講演（A会場）	9:00～11:30	1号館 1F	1102教室
	一般講演（B会場）	9:00～11:30	1号館 1F	1103教室
	大会本部	8:30～11:30	1号館 1F	1101教室
	休憩室	8:30～11:30	1号館 1F	1105教室

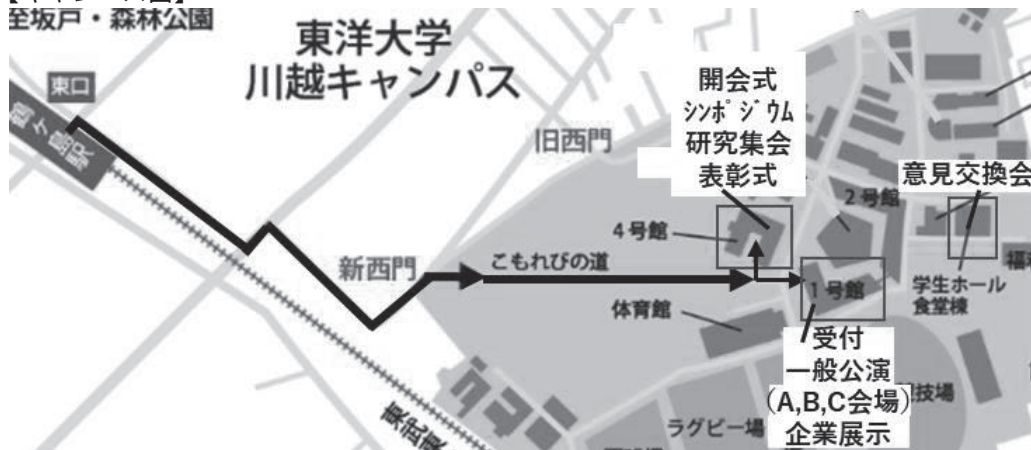
<会場・地図>

大会会場 : 東洋大学 川越キャンパス (〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100)

意見交換会会場: 東洋大学 川越キャンパス内 学生食堂

【キャンパス図】

至坂戸・森林公園



○交通案内

(新幹線・東京)

「東京」から JR 山手線内回り 約 25 分

(東京→池袋)

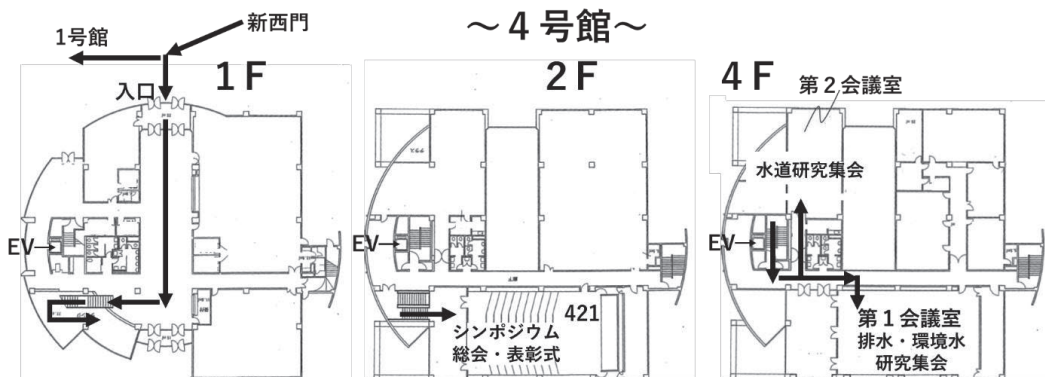
「池袋」から東武東上線 急行 約 38 分／準急 約 45 分 (池袋 → 鶴ヶ島)

【シンポジウム・総会・表彰式】

4号館 2F 421 教室

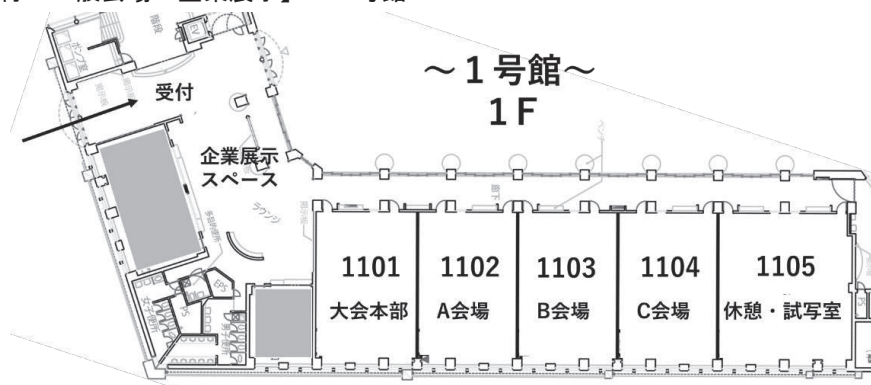
【研究集会】

4号館 4F 第1会議室・第2会議室



【受付・一般会場・企業展示】

1号館 1F



1日目 11月14日(金)

14:00 ~ 14:10 開会の辞および挨拶

14:00~14:05	開会の辞	東洋大学	教授	山崎 宏史 (大会会長)
14:05~14:10	挨拶	東北大学	教授	西村 修 (学会会長)

14:10 ~ 16:40 シンポジウム
ー生活排水処理分野における温暖化対策ー

座長・司会 山崎 宏史 (大会会長)

○講演

- 「下水処理プロセスから排出される N_2O 排出量の実態把握調査」
石井 淑大 (国土技術政策総合研究所 研究官)
- 「排水処理槽からの N_2O の生成と消費のメカニズム」
寺田 昭彦 (東京農工大学 教授)
- 「下水処理水に残存する溶存態温室効果ガスの挙動について」
増田 周平 (秋田工業高等専門学校 教授)
- 「分散型汚水処理・汚泥資源化システムにおける GHGs 削減計画」
中久保 豊彦 (大阪大学 准教授)
- 「浄化槽から排出される GHGs 削減に向けた維持管理ガイドラインの開発」
柿島 隼徒 (公益財団法人日本環境整備教育センター 主任)
- 「汚泥のバイオチャー化による炭素隔離」
蛭江 美孝 (国立環境研究所 上級主幹研究員)

○総合討議

17:00 ~ 19:00 研究集会

○1) 水道生物研究集会

- 「かび臭発生藍藻 *Microcoleus autumnalis* の分子系統解析と浄水処理対策」
コーディネーター 猪又 明子 (東京都健康安全研究センター)
- ①荒川におけるかび臭発生藍藻の生育状況、浄水処理対応等
寺中 郁夫 (埼玉県企業局行田浄水場 水質担当課長)
- ②ビッグデータを用いた原水のかび臭濃度予測
根本 雄一 (前澤工業株式会社 環境 R&D 推進室企画管理部長)
- ③荒川、道志川等から単離した *Microcoleus autumnalis* の分子系統解析
藤本 尚志 (東京農業大学 応用生物科学部 醸造科学科教授)

○2) 排水・環境水研究集会

- 「アナモックス反応を用いた排水処理の実用化事例と今後の展望」
コーディネーター 井坂 和一 (東洋大学理工学部)
- ①MBBR 法による一槽型アナモックスプロセスの適用例
田中 博憲 (ヴェオリア・ジェネッツ (株))
- ②天然ガスかん水の処理に向けた一槽型アナモックスプロセスの実用化
横田 信幸 (関東天然瓦斯開発 (株))
- ③下水処理場における嫌気性消化脱水分離液へのアナモックスプロセス適用
～施設事例紹介～②畜産排水と薬剤耐性菌
北田 剛 (メタウォーター (株) 環境エンジニアリング事業本部)

2日目 11月15日(土)

9:00 ~ 11:15 一般講演(午前の部)

<A会場>

座長：井上 智(横浜市水道局)

- 9:00~9:15 A-01 共生微生物が宿主微細藻類に及ぼす作用の理解とその藻類バイオマス生産への応用
○熊崎 朱里(山梨大院・工)、森 一博、遠山 忠(山梨大院・総合)
- 9:15~9:30 A-02 秋田県八郎湖における *Microcystis* 属の遺伝子型レベルでの季節変動
○齊藤 真哉(秋田県大院・生資)、岡野 邦宏、渡邊 美穂、宮田 直幸(秋田県大・生資)
- 9:30~9:45 A-03 藻類-細菌グラニュール法と藍藻類捕食動物を利用した水圏浄化システムの検証
○山口 暖人(東洋大院・生命)、板山 朋聡(長崎大院・工)、岩見 徳雄(明星大・理工)、間世田 英明(産総研・バイオ)、岡野 邦宏(秋田県大・生資)、原 田、雷 中方、張 振亜、内海 真生(筑波大・生環)、清水 和哉(東洋大・生命)
- 9:45~10:00 A-04 ウキクサ共生細菌における「食い分け」機構の解明
○梅本 陸矢(兵庫県大院・工)、古谷 美樹(兵庫県大・工)、石澤 秀紘、武尾 正弘(兵庫県大院・工)

休憩 15 分

座長：谷 幸則(静岡県立大学)

- 10:15~10:30 A-05 リボソーム遺伝子プロモーターを用いたバイオ凝集剤高生産株の育種
○依藤 宝、藤澤 悠花、菊間 あかり、小西 竜太郎、石澤 秀紘、武尾 正弘(兵庫県大院・工)
- 10:30~10:45 A-06 侵略的外来水生植物ナガエツルノゲイトウが生産するアレロパシ一物質のマイクロコズム試験を活用した生態系影響評価
○石井 隆太郎(千葉工大院・先進工)、村上 和仁(千葉工大・先進工)、稲森 隆平、稲森 悠平(NPO バイオエコ技研)
- 10:45~11:00 A-07 黒色元素態セレンを生成する新規耐塩性亜セレン酸還元菌 *Malaciobacter canalis* UFI-3 の単離と亜セレン酸還元特性の調査
○古田 有輝、石橋 知也、高嶋 純平、井上 大介(阪大院・工)、小澤 隆弘、阿部 浩也(阪大・接合研)、池 道彦(阪大院・工)
- 11:00~11:15 A-08 浄水場生物接触ろ過池からの殺藻細菌のスクリーニング
○砂金 克哉(立命館大院・理工)、清水 悠介、澤田 和子、惣田 訓(立命館大・理工)

<上記8講演:ベストプレゼンテーション賞審査対象>

<B 会場>

座長：和木 美代子（農業・食品産業技術総合研究機構）

- 9:00～9:15 B-01 標準活性汚泥法における N_2O の長期発生特性と生成活性の関係
○原田 光彩（秋田高専・専）、大友 渉平（秋田高専・技セ）、
田中 秀治（三機工業(株)・R&D センター）、丸尾 知佳子（東北大・工）、
増田 周平（秋田高専・創シス）
- 9:15～9:30 B-02 $Cu(II)$ 、 $Ni(II)$ 制限がバクテリア型アナモックスプロセスへ及ぼす影響
○佐々木 俊輔（東洋大院・理工）、斎藤 弥生、
近藤 貴志（中外テクノス）、見島 伊織（埼玉県・環科国セ）、
山崎 宏史、井坂 和一（東洋大院・理工）
- 9:30～9:45 B-03 マノメトリック手法を用いたアナモックスの処理特性の検討
○五月女 瞬、角野 立夫、清水 和哉（東洋大院・生命）、山本 明広、
糸川 浩紀（日本下水道事業団）
- 9:45～10:00 B-04 ラボスケール硝化・脱窒槽の窒素除去に及ぼす曝気量の影響
○志村 大智（立命館大院・理工）、上田 一輝、森田 悠天、
惣田 訓（立命館大・理工）

休憩 15 分

座長：立田 真文（富山県立大学）

- 10:15～10:30 B-05 馴養段階における硝化微生物の定量解析と硝化特性評価
○余嶋 孝仁（芝浦工大・工）、寫根 光喜（芝浦工大・工）、
清水 和哉、角野 立夫（東洋大・生命）、李 沁潼（芝浦工大・工）
- 10:30～10:45 B-06 低 pH 条件下で連続培養した硝化系における硝化特性と微生物叢の評価
○森本 実咲（東洋大院・理工）、斎藤 弥生、近藤 貴志（中外テクノス）、
峯岸 宏明、井坂和一（東洋大院・理工）
- 10:45～11:00 B-07 アナモックス菌の簡易大量培養と新規コンポスト脱臭技術の検討
○奥山 夢叶、五月女 瞬、清水 和哉、三浦 健（東洋大・生命）、
松本 和久（松本牧場）、角 野立夫、村松 竜乃介、田代 利明、
鈴木 郁男（岡田製作所）
- 11:00～11:15 B-08 浄化槽における常時循環による CH_4 排出削減効果の検証
○WU Yujie（立命館大院・理工）、柿島 隼徒（東洋大院・理工）、
山崎 宏史（東洋大・理工）

<上記 8 講演: ベストプレゼンテーション賞審査対象>

<C 会場>

座長：惣田 訓（立命館大学）

- 9:00～9:15 C-01 環境中に放出される浄化槽処理後排水に残存する溶存態 GHGs 排出量の精緻化と削減技術の開発
○兼目 隼和、柿島 隼徒、山崎 宏史（東洋大院・理工）
- 9:15～9:30 C-02 脱窒プロセスにおける流入窒素濃度と Mo(VI) 要求量の関係
○相田 怜夢（東洋大院・理工）、斎藤 弥生、近藤 貴志（中外テクノス）、見島 伊織（埼玉県・環科国セ）、山崎 宏史、井坂 和一（東洋大院・理工）
- 9:30～9:45 C-03 蓮沼海浜公園池における生物多様性と生物炭素量に着目した生態系構造解析
○雨宮 朱里、齋藤 颯、村上 和仁（千葉工大・先進工）
- 9:45～10:00 C-04 余剰汚泥を用いた糖系排水からのポリヒドロキシアルカン酸生産方法に関する検討
○佐藤 大雅、井上 大介、池 道彦（阪大院・工）

休憩 15 分

座長：類家 翔（琵琶湖・淀川水質保全機構）

- 10:15～10:30 C-05 捕食性細菌を用いた前処理による余剰汚泥の可溶化促進及びメタン生成向上
○船澤 昂希、井上 大介、池 道彦（阪大院・工）
- 10:30～10:45 C-06 貧毛類を導入した接触酸化法による余剰汚泥の減容化の連続実験
○末田 大貴、Qian Shuhan、大谷 裕貴（立命館大院・理工）、惣田 訓（立命館大・理工）、野宮 高由、豊島 光康（水 ing(株)）
- 10:45～11:00 C-07 従属栄養硝化・好気生脱窒細菌の単離および硝化反応の機序の解明
○安良岡 聖騎、清水 和哉、三浦 健（東洋大院・生、BRRP）

<上記 7 講演: ベストプレゼンテーション賞審査対象>

11:30 ～ 13:00 昼食休憩

11:30 ～ 13:00 企業研究会

（参加予定企業）

- ・（一財）茨城県薬剤師会検査センター
- ・水 ing（株）
- ・（株）ダイキアクシス
- ・（公財）日本環境整備教育センター
- ・（株）日立プラントサービス
- ・フジクリーン工業（株）
- ・前澤工業（株）
- ・三菱ケミカルアクア・ソリューションズ（株）
- ・メタウォーター（株）

11:30 ～ 13:00 評議員会

13:00 ~ 15:45 一般講演（午後の部）

<A会場>

座長：岡野 邦宏（秋田県立大学）

- 13:00~13:15 A-09 マイクロゾム構成種を用いた単一種試験による生物間相互作用の毒性低減解析評価
○佐藤 颯介（千葉工大院・工）、村上 和仁（千葉工大・先進工）、稲森 隆平、森 悠平（NPO バイオエコ技研）
- 13:15~13:30 A-10 マイクロゾム WET 試験による湖沼水の生態系に及ぼす影響評価
○村上和仁（千葉工大・先進工）、稲森隆平、稲森悠平（NPO バイオエコ技研）、類家 翔（（公財）琵琶湖・淀川水保研）、鈴木理恵（茨城県薬剤師会検査セ）
- 13:30~13:45 A-11 水田生態系における生物多様性調査評価マニュアルおよび土壌生物調査による残留農薬の影響評価
○浜辺 優斗、村上 和仁（千葉工大・先進工）、岡田 光正（ほたる野を守る NORA の会）
- 13:45~14:00 A-12 藻類生長阻害試験によるアナモックス法放流水の生態影響評価
○陳 凱杰、新 田朱梨、井坂 和一、山崎 宏史（東洋大院・理工）
- 14:00~14:15 A-13 水ー底質系モデルエコシステムにおけるプランクトン相遷移に及ぼすスケール効果の影響解析
○高橋 悠斗、稲葉 優輝（千葉工大・先進工）、佐藤 颯介（千葉工大院・工）、村上 和仁（千葉工大・先進工）

休憩 15 分

座長：板山 朋聡（長崎大学）

- 14:30~14:45 A-14 化学的および生物的水質評価に基づくクラスター分析による南房総の水環境区分の検出
○岩佐 颯馬（千葉工大院・先進工）、村上 和仁（千葉工大・先進工）
- 14:45~15:00 A-15 谷津干潟に生息するホソウミニナにおけるマイクロプラスチック粒径別の生体影響評価
○石塚 真、坂口 遼馬（千葉工大院・先進工）、村上 和仁（千葉工大・先進工）
- 15:00~15:15 A-16 東京湾沿岸域に生息するハゼの食物連鎖に着目したマイクロプラスチック摂食の影響解析
○池田 さやか、秋永 萌実、村上 和仁（千葉工大・先進工）、石塚 真（千葉工大院・先進工）
- 15:15~15:30 A-17 ふなばし三番瀬海浜公園の沿岸植生における種多様性の現状把握
○三木 貴文（千葉工大院・先進工）、村上 和仁、五明 美智男（千葉工大・先進工）
- 15:30~15:45 A-18 マンガン酸化真菌由来のバイオマンガン酸化物による Pb(II) イオンの吸着除去
○谷 幸則、海野 祐生、梅澤 和寛（静岡県大院・環境）宮田 直幸（秋田県大・生物資源）

<B 会場>

座長：増田 周平（秋田工業高等専門学校）

- 13:00～13:15 B-09 Comammox 含有硝化菌群の N_2O 放出特性評価と菌叢解析
○李 沁潼、大塚 亅人（芝浦工大・工）、高橋 美思、清水 和哉、
角野 立夫（東洋大学・生命）、篠崎 耕太郎、若原 慎一郎（クボ
タ）
- 13:15～13:30 B-10 $Fe(II)$ 濃度がアンモニア酸化活性および N_2O 転換率へ及ぼす影響
○麻生 侑里（東洋大院・理工）、見島 伊織（埼玉県・環科国セ）、
山崎 宏史、井坂 和一（東洋大院・理工）
- 13:30～13:45 B-11 脱窒プロセスにおける水素供与体源と添加量が N_2O 発生量に及ぼす
影響
○雨宮 和帆（東洋大院・理工）、斎藤 弥生、近藤 貴志（中外テク
ノス）、見島 伊織（埼玉県・環科国セ）、山崎 宏史、井坂 和一（東
洋大院・理工）
- 13:45～14:00 B-12 専用住宅浄化槽から排出される温室効果ガス N_2O の排出特性と削減
効果
○稲村 成昭（岩浄検セ）、柿島 隼徒（日環教セ）、山崎 宏史（東洋大・
理工）
- 14:00～14:15 B-13 異なる pH 条件で培養した硝化細菌系における硝化および N_2O 排出
特性
○戸出 匡洋、森本 実咲、井坂 和一（東洋大院・理工）

休憩 15 分

座長：櫛田 陽明（日本環境整備教育センター）

- 14:30～14:45 B-14 浄化槽への間欠ばっ気適用による温室効果ガス排出挙動の解析
○中屋敷 祐人、笹田 尚平、林 広大、市成 剛（フジクリーン工業）、
山崎 宏史（東洋大・理工）
- 14:45～15:00 B-15 琵琶湖南東部の表層中における 6 種類の抗菌薬の濃度調査
○澤田 和子（立命館大・総科技研）、惣田 訓（立命館大・理工）
- 15:00～15:15 B-16 キャビテーションによる余剰汚泥の分解性の向上効果：ラボスケール
好気性消化法による検証
○惣田 訓（立命館大）、新實 誉也、大野 慶詞、横井 慎司、加 藤
大雅（キョーラク（株））
- 15:15～15:30 B-17 濃縮車導入による浄化槽汚泥処理システムの脱炭素化に関する研
究
○KE RONGXIN（環境生態研）、李 玉友、西村 修（東北大院・工）、
濱中 俊輔（日本環境整備教育セ）
- 15:30～15:45 B-18 DX 基盤を支えるファインセラミックスのもみ殻由来合成
○立田 真文（富山県大・工）、関藤 良子（金沢大・先端社会）

<C会場>

座長：石澤 秀紘（兵庫県立大学）

- 13:00～13:15 C-09 ウキクサの資源生産を促進する微生物の探索
○佐野 雄弥（山梨大院・工）、遠山 忠、田中 靖浩（山梨大院・生）、森 一博（山梨大院・工）
- 13:15～13:30 C-10 水生植物ウキクサバイオマスからの多成分逐次抽出に関する検討
○小野 友也（山梨大院・工）、森 一博、遠山 忠（山梨大院・総合）
- 13:30～13:45 C-11 藻類-微生物複合系によるイカ加工廃水原液の処理
○山本 悠馬（静岡大院・農）、本村 圭、綾野 裕之、牛山 保（栗田工業）、長尾遼（静岡大院・農）
- 13:45～14:00 C-12 カツオ加工廃水を資化する藻類微生物複合系の生育と処理能力
○加賀 稜健（静岡大院・農）、横山 蒼太（豊橋技科大・工）、足立 秀行（（株）ユーグレナ）、久保 篤史（静岡大・理）、二村 和視（静岡水技研）、広瀬 侑（豊橋技科大・工）、長尾 遼（静岡大院・農）
- 14:00～14:15 C-13 槽内亜硝酸濃度がNOB細菌叢および基質親和性に及ぼす影響
○吉田 琳（東洋大院・理工）、斎藤 弥生、近藤 貴志（中外テクノス）、井坂 和一（東洋大院・理工）

休憩 15 分

座長：長尾 遼（静岡大学）

- 14:30～14:45 C-14 Cu(Ⅱ)、Mn(Ⅱ)が1,4-ジオキサン分解活性に及ぼす影響
○阿久津 峻（東洋大院・理工）、見島 伊織（埼玉県・環科国セ）池 道彦（阪大院・工）、井坂 和一（東洋大院・理工）
- 14:45～15:00 C-15 *Achromobacter* sp. 5L 株によるトルエン分解特性
○福田 瑞貴、萩原 大祐、井坂 和一（東洋大・理工）
- 15:00～15:15 C-16 伊豆沼における近年の水質について
○西村 修、野村 宗弘、田中 伸幸（東北大院・工）藤本 泰文、嶋田 哲郎（宮城県伊豆沼・内沼財団）、藤本 尚志（東農大・農）
- 15:15～15:30 C-17 管理釣り場における釣り餌の投入が水質に与える影響評価
○木持 謙、池田 和弘、渡邊 圭司（埼玉県環科国セ）、岸田 直裕（（一社）埼玉県環検研協）、沢田 典大、藤原 亮（マルキュー（株））
- 15:30～15:45 C-18 狭水路で連なる汽水湖における有機物指標に関する一考察
○石川翔一、山崎慶子、蔦原仁平、柴田祐子、高岡大、田中宏和（福井県衛環研セ）

16:00 ～ 17:15 総会 ・ 表彰式

17:30 ～ 19:00 意見交換会

3日目 11月16日(日)

9:00 ~ 11:30 一般講演

<A会場>

座長：澤田 和子（立命館大学）

- 9:00~9:15 A-19 淡水ツボウムシおよび分解菌の温度変化によるミクロキスチン分解能評価
○軽部礼騎、村上和仁（千葉工大・先進工）、類家翔（琵琶湖・淀川水保研）、稲森隆平、稲森悠平（NPO バイオエコ技研）
- 9:15~9:30 A-20 有毒アオコの pH 制御による発生抑制の可能性
○板山 朋聡、Mu Xinting（長崎大院・総合生産）、岩見 徳雄（明星大・理工）、清水 和哉（東洋大・生命）
- 9:30 ~ 9:45 A-21 *Anabaena macrospora* (*Dolichospermum hangangense*) 休眠細胞の生残と発芽に及ぼす休眠環境条件の影響
○矢島 悠一（長野市役所）、一瀬 諭（元琵琶環研セ）、西村修（東北大院・工）
- 9:45 ~10:00 A-22 琵琶湖南湖・湖岸域に生息する *Pseudanabaena* 属藍藻の種の存在状況
○類家 翔、和田 桂子、中川 一（琵琶湖・淀川水保研）、浅田 安廣（京大院・工）
- 10:00~10:15 A-23 琵琶湖・瀬田川に出現した *Coronia echeneis* の連続調査について
○一瀬 諭（元琵琶環研セ）、根来 健、大塚 泰介（滋琵琶博）、辻 彰洋（国科博）

休憩 15 分

座長：矢島 悠一（長野市役所）

- 10:30~10:45 A-24 西の湖における水質および周辺環境の変化が藍藻の構成に与える影響（2024 年度）
○阪井 俊夫、藤井 明美、川上 奈津子、中村 昌文（(株)日吉）、一瀬 諭（元琵琶環研セ）
- 10:45~11:00 A-25 琵琶湖における動物プランクトンの長期変動について
○河上新大、池田将平、那須文彰、松井一葉、一瀬諭（琵琶環セ）
- 11:00~11:15 A-26 水凍結乾燥法を用いた SEM 観察による琵琶湖南湖の黄金藻類
○根来健・大塚泰介（琵琶湖博物館）、伊藤裕之（阪神水道企業団）
- 11:15~11:30 A-27 好気性グラニュール汚泥法と藻類-細菌グラニュール汚泥法における抗生物質曝露の影響比較
Chi Zhang、Liting Hao、Hanchen Miao（筑波大院・生環）、原田、雷中方、張振亜（筑波大・生環）、板山朋聡（長崎大院・工）、井原一高（神戸大院・農）、間世田英明（東北大院・農）、○清水和哉（東洋大・生命）

<B 会場>

座長：李 沁潼（芝浦工業大学）

- 9:00~9:15 B-19 リン吸着性バイオ炭を用いた脱水ろ液からのリン回収技術の実証
○倉澤 響、尾崎 洋輔、中村 慎、松澤 大起、横山 茂輝、倉谷 直樹、袋 昭太（株）フジタ）
- 9:15~9:30 B-20 豚舎汚水処理処理水のアルカリ条件下におけるりん除去能の評価
○飯尾 恒、神辺須 創哉、志賀 玲子、須藤 立（茨城畜セ）、和木 美代子（農研機構・畜研部）
- 9:30~9:45 B-21 養豚廃水処理施設における処理方式の変更が窒素除去性能とアナモックス菌に及ぼす影響
○石本 史子（静岡畜研中小セ）、和木 美代子（農研機構畜研）
- 9:45~10:00 B-22 アナモックス菌添加型活性汚泥法での養豚廃水処理
○三澤 大助、五月女 瞬、清水 和哉（東洋大・生命）角野 立夫、小菅 泰志、田代 利明、鈴木 郁男（岡田製作所）
- 10:00~10:15 B-23 し尿処理施設における活性汚泥生物相の把握および処理水質との関連性の調査
○西平 幸生、平木 淳、荒川 秀雄、今莊 博史（（株）日吉）、一瀬 諭（琵琶研セ）

休憩 15 分

座長：袋 昭太（株式会社フジタ）

- 10:30~10:45 B-24 浄化槽の撤去に伴う廃棄物発生量の推計
○櫛田 陽明、古市 昌浩（日環セ）、中久保 豊彦（大阪大・工）、山崎 宏史（東洋大・理工）
- 10:45~11:00 B-25 岩手県における *Physa acuta* が小型浄化槽の水質悪化に与える影響と経年変化
○柿木 明紘、稲村 成昭（岩手県浄化槽検セ）、山崎 宏史（東洋大院・理工）
- 11:00~11:15 B-26 中・大型浄化槽における保守点検の業務分析事例
○山下 雅大、古市 昌浩（日本環境整備教育センター）、山崎 宏史（東洋大・理工）
- 11:15~11:30 B-27 二酸化炭素吸収能を有する沈水植物マツモ・オオカナダモを緑肥とした水稻栽培における効果の評価
稲森 隆平（NPO バイオエコ）、類家 翔（琵琶湖淀川機構）、○稲森 悠平（NPO バイオエコ）、村上 和仁（千葉工大）、鈴木 理恵（茨城薬剤師会）

一般講演 座長一覧

11月15日(土) 9:00 ~ 15:45

<A会場>

A-01 ~ 04 井上 智 (横浜市水道局)

A-05 ~ 08 谷 幸則 (静岡県立大学)

<A01 ~ 08 : ベストプレゼンテーション賞 審査対象講演>

A-09 ~ 13 岡野 邦宏 (秋田県立大学)

A-14 ~ 18 板山 朋聡 (長崎大学)

<B会場>

B-01 ~ 04 和木 美代子 (農業・食品産業技術総合研究機構)

B-05 ~ 08 立田 真文 (富山県立大学)

<B01 ~ 08 : ベストプレゼンテーション賞 審査対象講演>

B-09 ~ 13 増田 周平 (秋田工業高等専門学校)

B-14 ~ 18 櫛田 陽明 (日本環境整備教育センター)

<C会場>

C-01 ~ 04 惣田 訓 (立命館大学)

C-05 ~ 07 類家 翔 ((公財)琵琶湖・淀川水質保全機構)

<C01 ~ 07 : ベストプレゼンテーション賞 審査対象講演>

C-09 ~ 13 石澤 秀紘 (兵庫県立大学)

C-14 ~ 18 長尾 遼 (静岡大学)

11月16日(日) 9:00 ~ 11:30

<A会場>

A-19 ~ 23 澤田 和子 (立命館大学)

A-24 ~ 27 矢島 悠一 (長野市役所)

<B会場>

B-19 ~ 23 李 沁潼 (芝浦工業大学)

B-24 ~ 27 袋 昭太 (株式会社フジタ)

日本水处理生物学会第 61 回大会（川越大会）運営委員会

大会会長

山崎 宏史 （東洋大学理工学部）

事務局長

井坂 和一 （東洋大学理工学部）

実行委員（50 音順）

猪又 明子 （東京都健康安全研究センター）

大塚 佳臣 （東洋大学総合情報学部）

木持 謙 （埼玉県環境科学国際センター）

清水 和哉 （東洋大学生命科学部）

三浦 健 （東洋大学生命科学部）

村野 昭人 （東洋大学理工学部）

吉田 征史 （日本大学理工学部）

李 沁潼 （芝浦工業大学工学部）

日本水処理生物学会第 61 回大会（川越大会）開催にあたり、下記掲載の企業・団体から多大なるご支援を賜りました。ここに、心より御礼申し上げます。

日本水処理生物学会第 61 回大会（川越大会）会長

広 告 掲 載 企 業 (50 音順)

アムズ（株）

（一財）茨城県薬剤師会検査センター

オルガノ（株）

クボタ浄化槽システム（株）

（一社）埼玉県環境検査研究協会

水 ing（株）

（株）ダイキアクシス

月島 JFE アクアソリューション（株）

ニッコー（株）

（株）日立プラントサービス

フジクリーン工業（株）

前澤工業（株）

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ（株）

メタウォーター（株）

（株）遊文舎

企 業 展 示 (50 音順)

（株）セントラル科学貿易

（株）ダイキアクシス

タイテック（株）

（公財）日本環境整備教育センター

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ（株）